

会 議 録

会議名	山陽小野田市図書館協議会		
開催日時	平成25年2月6日(金)午前10時から12時		
開催場所	山陽小野田市立中央図書館 第1会議室		
出席者	神徳良信委員、江中幸夫委員、川上富士子委員、古谷日登美委員 中村明美委員、山部絹子委員、若林徳昭委員、山本桂子委員、 植田眞理子委員		
欠席者	なし	委員数	9人
		出席者数	9人
		欠席者数	0人
事務担当課 及び職員	江澤正思教育長、今本教育部長 中央図書館 開初館長、板垣副館長、村岡主査、光永主任主事 厚狭図書館 山根館長、綿貫主査		8人
会議次第	1 教育長あいさつ 2 委員紹介、職員紹介 3 議事 平成24年度事業報告について 4 「第二次山陽小野田市子ども読書推進計画」について		
会議結果	<p>事務局より、山陽小野田市図書館協議会規則第3条第2項の規定により図書館協議会の会議の成立を報告。</p> <p>教育長あいさつ</p> <p>議事 平成24年度事業報告について 事務局から、平成24年度中央図書館及び厚狭図書館の事業経過について報告。</p> <p>質疑事項</p> <p>委員：出張おはなし隊について、厚狭図書館は3園で中央図書館は1園なのでもっと拡大してほしい。</p> <p>委員：園児など子どもの時から積極的に本に親しめるチャンスをあげてほしい。</p> <p>事務局：出張おはなし隊は、厚狭図書館での実績をもとに中央図書館で今年から始めた。今後活動を拡大していく。</p> <p>委員：広報は15日号しか載せてくれない。もっと周知手段を考えてほしい。</p> <p>委員：「図書館まつり」などのチラシについて、自治会の班回覧を利用してはどうか。</p> <p>事務局：チラシの各戸配布、班回覧については、自治会長の負担を軽減しようという経緯がある。各連絡協議会等を通じて配布す</p>		

るよう努める。

委員：厚狭地区再編の計画段階で、厚狭図書館を今の規模が小さくならないようにしてほしい。

事務局：新しい厚狭図書館を作る際にできるだけ市民の声を反映できるようにしていきたい。

「第二次子ども読書活動推進計画」について

委員：スマホや電子図書が普及してきて教科書も電子化へという時代になりつつある。その中であえて本を実際に手に取って読む事が大切である。本の重みや匂いも本の内容と伴に深い想像力を働かすことができ、何回も読み返すことで心の成長を培うことができる。この計画にもあるように、学校での本との出会いの促進を今後も積極的に取り入れてほしい。

委員：「学校での本との出会い」ということで、今小・中学校ではすべての子どもたちに朝10分の読書時間を設けている。また読んだ本をグラフ化して達成感を感じさせている。子どもたちはとても静かに読んでおり、実際に体験できない事を本が教えてくれ、いろいろな事を子どもに教えてくれる。より一層、生活の中で本に触れるチャンスを沢山つくって頂きたい。

委員：学校図書館支援員が各校に配置されて急激に読書時間が伸びた。今後も支援員制度を継続してほしい。

委員長：本計画（案）について他に意見はございますか？

委員：なし

委員長：委員の活発な審議の結果、この「子ども読書活動推進計画（第二次計画）」について本協議会で、諮問された原案について委員合議のもと、異議なしとし教育委員会に答申したいと思います。

事務局：ありがとうございます。

当計画案を教育委員会議案に附すことといたします。

以上